

志望理由書完成シート

大学パンフは
ココから取り寄せ！



600字程度で志望理由書を完成させよう

年 組 氏名

第1志望校を複数の大学と比較しよう

大学パンフを使って、第1志望校を複数の大学を比較してみよう。第1志望校ならではの魅力に気づけるよ。

大学名・学部名	学びたいこと・学び方・環境	キミにとっての推しポイント	大学が求めている人物像

第1志望校

志望理由書 構想メモ

やりたいこと・きっかけ

(例)韓国アイドルのライブを見に韓国へ行ったとき、現地のガイドさんに簡単な韓国語を教わり、違う国に住む人同士をつなぐ仕事に興味を持った。

パンフを読んで「いいな」と
思ったポイントを書こう

「アドミッション・ポリシー」として
書かれていることが多い！

第1志望校が、やりたいことにピッタリだと思う理由



「〇〇をやりたいから、××なこの大学がいい」と
言えるように、つながりを意識しよう！

(例)ネイティブの先生が多く、コミュニケーションを取りながら語学を学べると思ったから。観光会社との合同授業で、業界を深く理解できると思ったから。

将来どんなことを実現したいか？ 社会でどのように役立つのか？

(例)観光系の職業に就き、違う国に住む人にその国の魅力を知ってもらっただけでなく、さらに興味を持ってもらえるようなガイドになりたい。

書き出しの
ヒント

「私は～」

「なぜなら～」

「貴学は～」

「将来は～」

100

200

300

400

500

600

志望理由書完成シート

大学パンフはココから取り寄せ！



600字程度で志望理由書を完成させよう

記入例

第1志望校を複数の大学と比較しよう

大学パンフを使って、第1志望校を複数の大学と比較してみよう。第1志望校ならではの魅力に気づけるよ。

大学名・学部名	学びたいこと・学び方・環境	キミにとっての推しポイント	大学が求めている人物像
〇〇大学 工学部機械 工学科	・〇×県内 ・機械工学科も電子工学科も ある	・機械工学・電子工学のどちらも 4年間学べる ・福祉・生活支援ロボットの研究室アリ	工学の技術・知識に強い関心があり、技術を通じて社会に貢献しようとする意欲を持った人
〇〇大学 工学部電気・ 電子工学科	・□□県 ・機械工学科は無いが、 履修は可能	・ワンキャンパス ・英語の学習に力を入れている ・卒業生の満足度が高い	急速に発展する社会の中で、常に最新技術へのアンテナを張り続けることができる人
▲▲学園大学 工学部機械 システム工学科	・〇×県内 ・機械工学科がある	・1年生からゼミ形式で少人数制 ・年間授業料60万円 ・地域と連携したプログラムが多い	課題に対して主体的に取り組み、他社への関心と技術への探究心を持っている人

第1志望校

志望理由書 構想メモ

やりたいこと・きっかけ

(例)韓国アイドルのライブを見に韓国へ行ったとき、現地のガイドさんに簡単な韓国語を教わり、違う国に住む人同士をつなぐ仕事に興味を持った。

- ・小さいころ行った子供実験教室で、自分の作ったペンギンのおもちゃが動き出したことに衝撃を受けた。
- ・遠足で行った科学館の展示で、人に話しかけ手助けをするロボットがあると知り、興味を持った。
- ・おばあちゃんがスマホを使いこなせておらず悲しそうだった。誰もが使える技術・機械を作りたい。

パンフを読んで「いいな」と思ったポイントを書こう

「アドミッション・ポリシー」として書かれていることが多い！

第1志望校が、やりたいことにピッタリだと思う理由

(例)ネイティブの先生が多く、コミュニケーションを取りながら語学を学べると思ったから。観光会社との合同授業で、業界を深く理解できると思ったから。

- ・企業との共同研究をするゼミが多く、その中に福祉・生活支援ロボットの研究室があるため、科学館で見たような「人の手助けをするロボット」の製作について、最先端の技術を詳しく学ぶことができると思った。
- ・機械工学・電子工学の両方を4年間学べるため、ソフトとハードの両面から技術を磨く事ができると考えた。
- ・実習が多く、手を動かして覚えたい自分にはぴったりの環境だと思った。

将来どんなことを実現したいか？ 社会でどのように役立つのか？

(例)観光系の職業に就き、違う国に住む人にその国の魅力を知ってもらうだけでなく、さらに興味を持ってもらえるようなガイドになりたい。

- ・そのロボットが一台あるだけでお年寄りが安心して暮らせるような、生活に根付いた福祉・介護ロボットを作りたい。
- ・環境や安全面に、より配慮した、誰もが使えるロボットを作りたい。

書き出しのヒント
「私は～」

「なぜなら～」

「貴学は～」

「将来は～」

年 組 氏名

私は、生活の細かい困りごとを解消できるロボットを作りたいと思い、マナビ大学工学部機械工学科を志望します。

なぜなら、多様な人々の豊かな生活をロボットの力を通して支えたいと考えているからです。小学生の時に訪れた科学博物館で、人に話しかけ手助けをする最新のロボットを見学した際、最新の技術が人を助け、生活になくてはならないものになる未来に憧れを抱きました。しかしその一方で、祖母がスマートフォンをうまく使えず困っているという話を聞きました。便利な最新技術は日々生まれ出されていますが、それをすべての人が手軽に使える仕組みを自分自身の手で作りたいと考えようになりました。

貴学では、企業との共同研究を行う福祉・生活支援ロボット研究室を開室しています。福祉ロボットの最先端技術を知ることができる環境の中で、「どうすればその技術を人々に使ってもらえるか」ということを研究したいと考えます。また、機械技術と電子工学の両方を4年間学べることや、2年次から始まる実習を通じて、ソフトとハードの両面から最先端の技術を実践的に修得できることにも魅力を感じています。

将来は、誰でも簡単に使えて、人の暮らしに根付くことができる福祉・介護ロボットを作りたいと思っています。環境面や安全面など、多様な観点から見てよりよいロボットを追究していきたいと考えています。

100

200

300

400

500

600